

2017年度（平成29年度） 芦屋市障がい者基幹相談支援センター事業報告

重点課題	事業計画		実施(予定)計画	実施内容	成果と課題
1) 専門的な相談支援	委託相談支援(3障害)	継続	・ケース対応 東と西に地区割し、対応件数の集約とケースの共有 ・ケースから見える地域の課題を抽出・整理する。	困難ケース 63件 延べ相談対応回数 2,572件 虐待ケース 12件 延べ相談対応回数 147件	・対応困難ケース、虐待ケースについて専門的に支援を実施。 ・朝礼、ミーティングなどでケース支援の進捗について内部共有に努めた。 ・対応困難ケースの増加と課題の複雑化。
	基幹相談支援センターの機能強化	継続	基幹相談支援センター運営のための研修参加	・育成会研修(知的障害模擬体験等) 5/17, 1/17, 2/21 ・兵庫県相談支援専門研修・リーダー研修 7/28, 2/15, 3/9, 3/10 ・権利擁護関連研修 10/24, 12/9, 1/20, 2/17 ・地域移行関連研修 12/4, 1/27 ・対人援助研修 12/5, 1/16, 1/19, 3/19 ・発達障害関連研修 1/12, 1/31, 3/4 ・アールコール関連問題研修 2/6 ・医療的ケア研修 2/20 ・自殺未遂者対策研修 3/12, 3/19	・基幹相談の役割や地域移行、対応困難ケース、虐待対応への支援方法に関わる研修に参加し、資質向上に努めた。
	サービス等利用計画	継続	・サービス等利用計画(案) *各法人にて計画やモニタリングチェックの実施	・計画相談連絡会(11/29) ・計画相談員向けの勉強会・交流会の開催(6/1,2/1) ・すすく(学級卒業者向け説明会にて計画相談の説明	・サービス事業所の増加に伴い、計画相談員同士が意見交換できる場を設け、お互いの交流と共に、地域の事業所の情報共有を実施した。 ・4事業所ともに、計画件数が増加しており、新規作成に数か月掛かる場合がある。 ・計画相談支援ケースから見える共通課題の抽出には至っていない。
2) 地域の相談支援体制の強化の取組	相談支援事業者への指導・助言	継続	・一般相談員、計画相談員への助言 (相談内容への助言等、計画作成についての助言等) ・一般相談ミーティング、クローバー会議への出席	・随時 対応ケースへの助言、同行訪問等を実施 ・一般ミーティングへの会議参加(月1回) ・クローバーとの支援調整会議への参加(7/20, 11/16, 2/22)	・一般相談やクローバーとの会議では、ケース検討を行い、支援方法の検討を行うとともに情報共有に努めた。 ・事業所に関わらず、相談員間の協力体制の構築に努めた。
	相談支援事業者への人材育成の支援	継続	・SV研修(月1回程度)	SV研修会 ・田中禎先生(合計3回、5/19, 10/6, 2/8) ・田口隆司先生(合計3回、7/6, 12/7, 3/1) ・益子千枝先生(3/19)	・相談員が支援方法や介入の糸口に困難さを感じる事例をもとに、精神医学的な観点からのアドバイスを受け、相談員の資質向上につながった。
	地域の相談機関等との連携強化	継続	・民生委員への普及・啓発	・福祉高める運動(5/24, 5/25, 5/26) ・民生児童委員障害部会(6/9)	・民生児童委員に見守り協力をするなど連携をより深めることができています。 ・研修後、民生児童委員からの近隣住民に関する相談があった。
		継続	・市内及び近隣事業所への普及・啓発	・在宅療養支援推進会議への参加 ・生活困窮者支援事例検討会へ参加 ・芦屋市訪問看護ステーション連絡会 特別支援学校(進路指導教諭対象)へ出講	他分野での事例検討会に参加することで、連携システムの構築を行った。また、他機関に向けて障害福祉サービスの周知・啓発を実施した。
		継続	・地域発信型ネットワーク会議への参加	・地域ケアシステム検討委員会 ・中学校区福祉ネットワーク会議 ・小地域福祉ブロック会議	地域住民主体の会議に出席し、地域支援者と顔の見える関係づくりに取り組みることにより、地域での早期発見・困りごとに協力できるよう情報提供できている。
	地域生活を支える体制整備に係るコーディネート ・自立支援協議会の運営	継続	・事務局(障害福祉課)の運営への協力 ・実務者会の開催及び運営(年3回程度) ・専門部会の開催及び運営(年6回程度)	・自立支援協議会(合計3回開催、8/8, 12/27, 3/26) ・実務者会開催(合計3回開催、9/29, 11/29, 2/21) ・専門部会開催(合計5回開催、9/20, 10/25, 11/22, 1/24, 2/28)	別途 報告のとおり
	地域生活を支える体制整備に係るコーディネート ・自立支援協議会としての活動	充実	・市内事業所説明会の開催(福祉フェア)	・保健福祉フェアにて、市内事業所による合同説明会を開催(7/22)	市内事業所と企画や事業所紹介の展示方法を見直し、新たにカフェや発表の場を加えたことで、参加者数が525人(前年度:160人)と増加した。
芦屋市第5期障害福祉計画策定に係る協力	充実	・障がい児・者作品展の合同開催	・福祉センターや木口記念会館にて開催(12/5~11)	JCOMや神戸新聞社による広報や出版者への参加賞、感想文記入者への粗品配布を試みた結果、感想文記入者が170通(前年度:80通)と増加した。	
高浜1番社会福祉複合施設設置に向けた調整	充実	・芦屋市障害福祉計画策定委員会への参加	・策定委員会へ参加(6/2, 10/3, 10/26)	第5期障害福祉計画策定に係る委員会に参加。	
3) 地域移行・地域定着	地域移行・地域定着の促進の取組	充実	・施設・病院等への地域移行に向けた普及啓発	・高浜町社会福祉複合施設整備に係る協議(10/16, 11/27) ・地域生活支援拠点等の整備に関する検討会(12/27, 1/29, 2/23, 3/20)	拠点等の整備に関する検討会の中で、地域課題の抽出を行い、関係機関や山の子会と共有を行った。
		充実	・障がい児・者作品展の合同開催	・近隣精神科病院(4病院)への地域移行支援体制の聞き取りと入院患者(8人)への面会 ・地域移行啓発用チラシを作成し、近隣病院や関係機関に配布。	
		充実	・地域における地域移行・地域定着に向けた基盤づくり	・阪神南園域精神障害者地域移行・地域定着支援事業協議会(9/26, 3/6) ・芦屋管内精神障がい者地域移行推進連絡会議(2/7) ・実務者会(6/6, 8/17, 11/27)	別途 報告のとおり
4) 権利擁護・虐待防止	障がい者虐待防止の取組	継続	・ケース対応	・地域移行 契約前支援2件・契約済支援1件	
		継続	・虐待ケースモニタリング ①ケース共有と対応進捗管理 ②システム改善や地域資源開発等の検討 ③虐待ケースの具体的支援方策を検討	・虐待通報受理7件、そのうち虐待認定0件 ・前年度までの対応中件数は5件、そのうち2件終結	虐待対応については、フローに沿って適切に対応できている。
		継続	・夜間・休日の対応	・①モニタリング会議開催(7/24) ・②虐待マニュアル改定プロジェクトワーキング	・権利擁護支援センターと協力し虐待対応マニュアル改訂プロジェクトに相談員も参画。
		充実	・障がい者虐待防止のための研修会開催(年1回) (施設従事者虐待の防止のための研修) (権利擁護支援センター、自立支援協議会と協働で実施)	・夜間・休日に携帯電話で対応	実施できている。
			・3/1「意思決定支援ってな～に?～支援の質の向上をめざして～」 障がい者施設従事者等62人の参加	・事前に市内事業所職員向けに虐待意識調査を実施。その中の意見をもとに、市内4事業所の職員に協力をいただき、「意思決定支援」研修を実施。平日の夜であったが、多くの職員に参加いただけた。	

芦屋市における地域移行の進捗状況

○今年度の取組

1. 病院訪問

- ・保健所，芦屋市，基幹相談にて 4 病院へ訪問し，病院の地域移行状況の確認と入院患者 8 人と面会を行った。
- ・8 人のうち，「支援開始」「退院」に各 1 名至っている。

2. 地域移行支援事業（個別支援）

- ・現在，3 ケースが支援中。

○支援中ケース

契約状況	性別	入院期間	初回相談	支援内容
契約前	女性	4 年 10 ヶ月	平成 29 年 7 月	事業説明の前段階として，関係性構築のため，月 2 回程度面会
契約前	男性	2 年 10 ヶ月	平成 30 年 2 月	本人支援に向けて，病院や家族と支援方法について検討中
契約済	男性	1 年 4 ヶ月	平成 29 年 10 月	退院に向けて，病院訪問や外泊時の自宅への訪問

平成 30 年 3 月現在

3. チラシづくり

- ・入院中患者や家族に対して，地域移行支援事業の周知を目的にチラシを作成し，近隣病院等 12 カ所にチラシを配布。

4. 参加会議

○平成 29 年度 阪神南圏域精神障害者地域移行・地域定着支援事業協議会

	日時	場所	内容
第 1 回	平成 29 年 9 月 26 日	西宮市保健 所	<ul style="list-style-type: none"> ・各市における課題と平成 29 年度重点の取組 ・精神科病院における退院促進の院内の体制と課題等について
第 2 回	平成 30 年 3 月 6 日	西宮市保健 所	<ul style="list-style-type: none"> ・精神科病院入院患者現状調査報告 ・「地域移行支援事業」概要・県内の取組 ・3 市における地域移行支援の課題と今後の取組

○平成 29 年度芦屋管内精神障がい者地域移行推進連絡会議 実務者会議

	日時	場所	内容
第 1 回	平成 29 年 6 月 6 日	芦屋保健所	<ul style="list-style-type: none"> • これまでの支援の振り返り • 病院訪問のあり方について
第 2 回	平成 29 年 8 月 17 日	芦屋市保健福 祉センター	<ul style="list-style-type: none"> • 病院訪問の振り返り • 今後の個別支援のあり方について
第 3 回	平成 29 年 11 月 27 日	芦屋市保健福 祉センター	<ul style="list-style-type: none"> • 地域移行周知用チラシについて • 個別支援の進捗確認

○平成 29 年度芦屋管内精神障がい者地域移行推進連絡会議

	日時	場所	内容
第 1 回	平成 30 年 2 月 7 日	芦屋保健所	<ul style="list-style-type: none"> • 今年度の振り返り • 来年度の支援の方向性について

5. 研修

○平成 29 年度芦屋管内精神障がい者地域移行支援者研修会

	日時	場所	内容
第 1 回	平成 29 年 12 月 4 日	芦屋市役所	<ul style="list-style-type: none"> • 講義「障がい者相談支援事業所における地域移行支援事業の進め方」 • グループワーク「芦屋市における地域移行支援体制について考える」

6. 成果

- 病院訪問のエリアを拡大し、これまで訪問していない病院にも訪問し、地域移行状況の確認や新規の入院患者面会を行うことが出来た。
- 病院訪問や支援を通じて、病院スタッフとの間で顔の見える関係になり、新たなケース相談につながった。
- 地域移行支援事業啓発用のチラシを作成し、近隣病院等に配布したところ、チラシ配布後に入院患者への面会の依頼が入り、面会に至った。

7. 課題

- 意欲喚起支援において、個別に工夫して支援をしているが、退院後の生活のイメージがつくようなツールが必要である。
- 相談支援事業所が地域移行を円滑に進めていけるような体制作りが必要である。